

館報



2月号

やまがた

No. 754

平成31年

「いつも心を込めてパンを作っています」。約60種類を扱っていて、今のおすめは「練乳注意報」だそうです。年齢問わず、買ってくださいた方から声を掛けてもらいことがとても嬉しいと語ってくれました。

(2月6日 ザ・ビッグ信州山形店内 パんのわにて)



働姿
シリーズ

お客さまを笑顔に

右 山田 美^み律^つ代^よさん(中大池)
中 小林 幸^{ゆき}子^こさん(下大池)
左 竹野 小^さ百合^{ゆり}さん(上竹田)

告知板

◆施設予約のお知らせ◆

平成31年4月1日以降の施設予約（トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、テニスコート、山形小学校体育館・グラウンド）が3月15日（金）から始まります。当日は予約受付の際の混雑緩和のため、下記のとおりとなりますので、ご承知おください。

また、予約の重複を避けるため、先着順に一人（一団体）ずつ予約を入れていきます。予約希望日のメモを置いて帰る、などはご遠慮ください。

窓口予約：AM 8：30～
（ミラ、ドームはAM 9：00～）
電話予約：AM 11：00～

詳細については、山形村教育委員会
☎98-3155までお問い合わせください。

◆歴史講演会を開催します◆

かつての村婦人会や青年会の活動についてお話いただきます。入場無料、予約不要です。

テーマ

「戦後山形村を生きた女性たち青年たち
—個性ある地域社会史—」

講 師 信州大学 大串潤児 教授

日 時 3月17日（日）PM 3：00～

場 所 トレーニングセンター
ふるさと大ホール

問合せ 山形村教育委員会 ☎98-3155



ちくちくクラブ

2月2日（出）、図書館イベントで、布を使って絵本に出てくるうさぎの人形を作りました。親子での参加者が多く、2時間があっという間の、和やかで楽しい会となりました。

冬こそ外で雪遊び！



2月9日（出）、山形村で冬の遊びを楽しんでもらおうと地域おこし協力隊が企画した雪遊びイベントが行われ、村内、塩尻市、松本市、飯島町から合計14名の親子連れが参加し、清水高原の雪の中で宝探しなどをしました。

しばしお別れ

1月22日（火）、山形村から出土し県宝に指定された縄文土器など9点が、塩尻市立平出博物館で展示されるため、ふるさと伝承館から運び出さばれました。なお現在開催中の信州の特色ある縄文土器（新指定の土器たち）は、同博物館で3月31日（月）まで行われています。ぜひ出掛けてみて下さい。



歴史のお勉強

1月29日（火）、山形小学校3年生がふるさと伝承館で地域の歴史を学びました。職員からの話を聞き、興味のある事柄について熱心に質問を繰り返したり、石臼をひいて大豆のすりつぶしも体験しました。



これ知ってる？～3月8日は国際女性デー～

1904年3月8日のニューヨークで女性の労働者が婦人参政権を要求してデモを起こしたのが始まりで、その後も各国で女性の社会参加の提唱や人権の尊重など様々な活動が行われています。

長野県でも、今後もイベントや講演会などが予定されているそうなので、興味のある方は是非この機会に調べてみてはいかがでしょうか？

山すそ

今年は暖冬というが、日々それなりに寒く、楽しみは家の中でネットサーフィン。フリマアプリはまわってしまつた。

フリマアプリとはお店を開かなくてもインターネットを通じて個人がモノを売り買いできるサービス。出品者は不要なものや売っているもので、びつくりするような安い商品に出会ったり、値引き交渉の心理戦も楽しみの一つだ▼中でもアンティーク着物は元々数万円するものが数千円になっていたりと、大正時代のおしゃれでレトロなものを発掘できることもある。「もつと安くても良いものがあるはずだ！」と、深夜血眼になつて商品を探し回ること……▼そして、澄んだ朝日を浴びると、一転、悲しくもなる。「職人が手間暇かけて作った高級品でも、時代が変わればほとんどの人にとって価値の無いものになつて、投げ売りされてしまふんだなあ。着物好きな私が着て救つてあげないと」ポチッ（と購入ボタンを押す）このようにネット・フリマ中毒になる▼とはいえ、苦勞して探し出した着物を着て出かける楽しさは格別である。

ぼんの
坂野さんのケータイ講座
初級編

今までなんとなくでケータイを使ってきたから、
今さら聞けないけど…。誰か詳しく教えてー！

その疑問、わたくし坂野がお答えします!!

目まぐるしく進化するケータイの機能。なんとなく使っているけれど実はよく知らないってことがありますよね？ということで、ケータイ販売員の経験を持つ地域おこし協力隊の坂野岳人さんに教えていただきました。



Q. メールとLINEとSNSって何が違うの？

コミュニケーションする目的が異なります。

メールはメールアドレスを使って特定の人と人で文字や写真・動画のやり取りをするのに使います。

LINEはIDを指定して特定の人やグループと文字や写真・動画のやり取りをするのに使います。目的はメールと似ていますが、表現の幅や使いやすさが大きく異なります。

SNSは不特定多数とコミュニケーションするツールで文書・写真・動画を投稿して自己アピールや宣伝などの情報発信ができます。またメッセージ機能を使って特定の人とコミュニケーションすることもできます。

Q. CMで耳にする「ギガ」とか「ギガ不足」って何？

ケータイの「ギガ」は通信量を表し、GBと表記します。ケータイ契約時に「○GBまで」と決めるのは、「ひと月に●時間まで電話できる」と決めるのと同じです。そのため、使い過ぎて、たくさん通信したいのに契約上全部のことができない！という状態が「ギガ不足」です。

「ギガ不足」になると、速度制限（インターネットの接続速度が遅くなったりすること）が働き、月末または数日間には快適な利用が出来なくなります。

対処方法としては、そのままでの状態で月末または数日使用するか、新たに「ギガ」を購入することが挙げられますが、後者の場合は有料となります。

「ギガ不足」にならないためにもインターネットや動画視聴などはWi-Fi環境の整った自宅などで行うことが必要です。また、生活上どうしても外出先でインターネットを多用する機会がある場合は、契約を見直してみるのも手かもしれません。

Q. 家族利用で安くなるプランを教えてください

同じ会社で契約するなら家族割がいいですが、電話が少ないご家族ならばバケットをシェアする契約もオススメです。数ヶ月に1回程度はプランやオプションを見直してみましよう。また格安スマホに変えることも効果があります。

Q. 紛失や故障に備えてやっておくことは？

電話帳・写真・動画・LINE・アプリ・設定などのバックアップです。故障も紛失

もデータは戻せなくなる・無くなることを想定して、必ず対策しておきましょう。

バックアップの方法としては、後述するクラウドサービスや、外部デバイス（SDカード）などが利用できます。

Q. スマホのデータをわかりやすく整理する技を教えてください

クラウドサービスをオススメします。クラウド上のデータはほかのスマホやPCから操作できるため、管理がラクになります。また、本体にある機能でキーワード（花、動物、人物など）による目的の写真やデータを探すことができますので便利です。



Q. 子どものスマホに入れておきたいアプリは？

フィルタリングと位置情報サービスです。

フィルタリングは携帯電話会社が設定するものとご自身で設定するものがあります。携帯電話会社が設定するものは、必要性を考慮してレベル設定してください。ご自身で行う場合は、利用状況で手軽に変えることが出来るGoogleのファミリーリンクとAppleのペアレンタルコントロールがオススメです。

位置情報は「iPhoneは「ファミリー共有で「友達を探す」を使うと位置情報を家族と共有」^①、Androidは「Googleマップ」で現在地の共有を使うと居場所を把握できます。いずれも無料です。

Q. 子どもがスマホでトラブルに巻き込まれないために親がやっておくことは？

親と子どもがオープンであること、フィルタリング、位置情報だと思えます。フィルタリングで予防し、位置情報を把握しても、親と子が何でも話せる間柄でないと事前に察知することはできず、コトが起きてから気付くことになります。100%の予防はなく限界もありますので、ケータイをうまく活用してほしいです。

ケータイを購入・契約に行くときは「機種」「プラン」「オプション」を決めておきましょう。何も決めずに行くと、不要なプランやオプションに入って予算オーバーしたり、特に欲しいわけでもない機種を購入してしまったということがあります。キャンペーンや特定の機種・プランの組み合わせなどもありますので、事前にチェックしておくことをオススメします。



平成の山形村を振り返る ～30年の確かな歩み～ 平成元年(1989年)～平成31年(2019年)

「平成」と書かれた額を、当時の小淵官房長官が持った姿を覚えている方も多いと思います。あれから30年が過ぎ、その間に山形村でもさまざまな出来事がありました。そんな30年間の振り返ってみましょう。皆さんは、どんなことが印象に残っていますか

平成元年～平成10年

平成元年(1989年)

- ・第1回信濃山形ロードレース大会開催(招待選手に増田明美さんを招く)
- ・村営有線テレビ(YCS)が開局

平成2年(1990年)

- ・ドラマ『水色山路』完成
- ・第1回の「道祖神と新そば祭」開催

平成3年(1991年)

- ・特別養護老人ホーム「ピアやまがた」オープン

- ・平成4年(1992年)連合婦人会38年の歴史に幕

- ・「ミラ・フード館」オープン
- ・天皇、皇后両陛下が「ピアやまがた」をご訪問



両陛下が山形村を訪れた貴重な写真

平成5年(1993年)

- ・山形消防署が設置される
- ・11年振りとなる村長選挙55票差の激戦を制し、本庄國二氏3選を果たす

平成6年(1994年)

- ・松本市との間で水道水の分水協定締結

- ・「ふれあいの館(現ふれあい児童館)」、「ちびっこ広場」完成
- ・開村120周年記念式典挙行
- ・第2作目ドラマ『修治』が完成

平成7年(1995年)

- ・清水寺仁王門改築
- ・「スカイランドきよみず」オープン

平成8年(1996年)

- ・鉢盛中学校改築工事完了
- ・公共下水道一部供用開始、終末処理場「ウォータール山形」稼働

- ・「サラダ街道ショッピングセンター」オープン

平成9年(1997年)

- ・「ふれあいドーム」オープン
- ・「堂ヶ入ダム」完成

- ・平成10年(1998年)百年ぶりと言われる大雪に見舞われる

- ・一般廃棄物処分場「サンクスBB」竣工

世の中はバブル崩壊で景気も落ち込み始めた頃ではありますが、山形村では数々の施設がオープンし、村でドラマを制作するなど活気が溢れていた時代ですね。

平成11年～平成20年

平成11年(1999年)

- ・淀の内遺跡にて県内最大級のヒスイのペンダント出土

平成12年(2000年)

- ・「上大池コミュニティセンター」完成
- ・スイカを中心とした農作物に降ひよう被害発生

平成13年(2001年)

- ・初的女性収入役に小林かつ代さん就任
- ・「ファーマーズガーデンやまがた」オープン

平成14年(2002年)

- ・保健福祉センター「いちいの里」オープン
- ・「小坂生涯学習センター」完成

平成15年(2003年)

- ・観光協会の業務を商工会に委託
- ・周辺市町村と合併せず、山形村存続を決定

- ・山形村環境基本条例制定
- ・山形有線テレビの運営が

村からテレビ松本へ移行

平成16年(2004年)

- ・冬の風物詩として定着していた「光のページェント」が中止

平成17年(2005年)

- ・山形小学校増築工事が完了
- ・「サンクスBB第二棟」竣工

平成18年(2006年)

- ・「上竹田公会堂」完成
- ・梅雨前線による大雨で、大規模な水害発生

平成19年(2007年)

- ・山形小学校開校120周年記念式典開催
- ・「館報やまがた」全国公民館コンクールで特別賞受賞

平成20年(2008年)

- ・「なろう原公園及び公園」竣工
- ・第20回の信濃山形ロードレース大会開催(最後の大会となる)

この10年間で一番の出来事は、平成の大合併が進む中で山形村が村としての『存続』を決めたことでしょう。また、平成になって始まったイベントのいくつかが終わりを迎えていることも象徴的です。



▲「村長選挙」の集計作業で集計された(H15.3)

～数字で見る30年間の変化～

* 地区別世帯数と人口（各年1月31日時点）

区	平成元年				平成31年			
	世帯数	人 口			世帯数	人 口		
		総数	男	女		総数	男	女
上大池	188	814	381	433	307	878	436	442
中大池	158	683	345	338	242	756	369	387
小 坂	346	1,440	716	724	625	1,815	893	922
下大池	117	451	209	242	282	858	424	434
上竹田	369	1,533	747	786	777	2,280	1,137	1,143
下竹田	396	1,600	802	798	787	2,126	1,060	1,066
清水高原	4	8	4	4	12	17	11	6
合計	1,578	6,529	3,204	3,325	3,032	8,730	4,330	4,400

（村役場住民課データより）

* 小学校児童数

	平成元年	平成30年
1年	84	78
2年	103	71
3年	88	67
4年	105	96
5年	102	78
6年	109	96
合計	591	486

（学校基本調査より）

* 農家数

平成2年	平成27年
791	582

（農林業センサスより）

* 保育園園児数

	平成元年	平成30年
3歳未満	5	58
3歳児	72	67
4歳児	93	49
5歳児	93	69
合計	263	243

（山形保育園及び平成2年度議会報より）

* 早起き野球

ナイターソフトボールチーム数

	平成元年	平成30年
野 球	25	6
ソフトボール	25	14

（平成元年の野球は2リーグ制
ソフトは女子リーグ9チームもあり）

平成21年～平成31年

- ・ 平成21年（2009年）
 - ・ 村長選挙2期連続の無投票
 - ・ 清水高原文化交流施設「あららぎの庄」竣工
- ・ 平成22年（2010年）
 - ・ 県営担い手育成畑地帯総合整備事業完了
- ・ 平成23年（2011年）
 - ・ 下大池公民館完成
 - ・ 山形村イメージキャラクター「タロー」やまっち誕生
- ・ 山形村公民館、文部科学省の優良公民館表彰受賞
- ・ 平成24年（2012年）
 - ・ 山形保育園新園舎完成
 - ・ 村民運動会、小坂分館が5連覇達成
- ・ 平成25年（2013年）
 - ・ 山形小学校学校支援地域本部、文部科学大臣表彰受賞
 - ・ 山形村図書館子どもの読書活動文部科学大臣表彰受賞
- ・ 平成26年（2014年）
 - ・ 2週連続の大雪で120cmを越す積雪
 - ・ 子育て支援センター「すくすく」竣工
 - ・ 下竹田公会堂完成
 - ・ 開村140周年記念で村最高地点に「元氣が出る鐘」設置
- ・ 熊の出没相次ぎ、人への被害も発生
- ・ 平成27年（2015年）
 - ・ 館報やまがた全国公民館コンクールで優良賞受賞
 - ・ 山形村でもプレミアム商品券発売
- ・ 平成28年（2016年）
 - ・ 雨水による倒木被害発生、清水高原は一時孤立
- ・ 村民運動会雨天で2年連続の中止
- ・ 平成29年（2017年）
 - ・ 清水寺本堂、円通門の屋根修復工事完了
 - ・ 地域おこし協力隊の隊員を初めて採用
- ・ 平成30年（2018年）
 - ・ 第70回の村民運動会、規模縮小しての開催
 - ・ ふるさと伝承館が所蔵する縄文土器が村初の県宝指定
- ・ 平成31年（2019年）
 - ・ 村内のハード面が充実する中、増加を続けて来た人口も、徐々にではあります減少し始めました。地域コミュニティの在り方にも変化があらわれて来た10年です。



雨水による倒木で寸断される村道

館報記念号を振り返る

平成の30年間で、館報やまがたは100号刻みの節目を4回迎えています。節目の記念号の表紙を、それぞれ振り返ってみました。

500号平成9年12月
網室長芋の掘り取り400号平成元年8月
働く姿スタート 石材業700号平成26年8月
フルカラー 12ページで発行600号平成18年4月
選挙ポスター貼り

担当部員のつよき

平成の始まりを、高校3年生の受験シーズンに迎えた私。その後、学生時代と就職してからの数年は村を離れていましたが、館報やYCSの放送を通じて村の出来事には関心を持っていました。村でドラマを自主制作したり、ゴムボートで川を下り日本海まで行ってしまう元気な若者の集まり「トライズカンパニー」の活動など活気溢れる我が故郷に、山形村出身であることを誇りに思っていました。30年の月日を経て山形村も大きな変化を遂げましたが、平成の大合併の波に飲み込まれずに村存続を決めたことが、この30年間で一番のニュースではないでしょうか。そうでなければ、『館報やまがた』も存続はしていなかったはずですから……

次の節目となる800号は、新元号4年の12月号にあたり「働く姿」から新たなシリーズに変わるなんてこともあるかもしれませんね。記念号をどんな表紙が飾るか、楽しみに待ちましよう。

劇的に進化 わが山形村

昭和、平成、そして

加納 孝雄 (小坂)

今月の
声



私は昭和14年、村で生まれ育ち暮らして、今年80年になる生粋の「山形っ子」だ。改めて今、「この村に住んでよかった」と実感している。

ところでわが少年時代。鮮明に覚えているのは村の終戦直後の景色だ。舗装道路なんて一本もなく、林や桑畑、麦粟などの雑穀畑が広がり、荒涼たる寒村そのものだった。とりあえず「戦後復興」が先行。そして昭和30年代後半から驚天動地の村づくりが始まった。今日の山形村実現まで半世紀、どんな進化を続けてきたのか。村が取り組んだ会心の事業「ベストテン」を独断と偏見で作ってみた。

第3位 土地利用計画で農用公共用、住宅用、業務用の色分け。乱開発を防止。

第4位 宅地造成今も。ベツドタウン化で人口激増。

第5位 背骨道沿いに、役場、トレセン、ミラ・フールド館など「村中心地」形成。

第6位 保育、教育、福祉の拠点はすべて新築した。

第7位 大型商業施設、優良企業など誘致で活気。

第8位 自立体制整ったとし平成の大合併は「ノー」。

第9位 村道は4メートル幅。葬儀の香典一般は千円など、他村にはない不文律の定着。

第10位 YCS開局と、ドラマ「水色山路」大ヒット。

今、こうして愛すべき村が見事構築された。多くの先人たちには心からの敬意と感謝である。村づくりはエンドレス。次なるニュー山形村へ、今度は私たち村民みんなが番。そのスタートは、改元の日、5月1日だ。

故郷の魅力、再発見

長く住んでいる人ほど気付かない、その土地の良さがあります。そういった「故郷の魅力」をお届けしたいと思います。

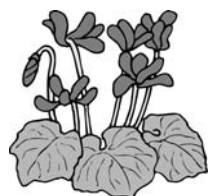
今回のテーマは村から見える星空です。この村は星空観察に必要な「暗さ」と「見晴らしの良さ」を備えており、ミラ・フールド館では月2回、天体観測会が行われています。

冬場は空気が澄んでいて美しい写真が撮れると聞き、編集部Kもチャレンジしてみました。が、あまりの寒さに心が折れそうでした。車移動でなければ、もう辞めていたかもしれません。道路網が適度に発達しており、手軽に撮影の練習ができる好条件が揃っていると思うので、皆さんもチャレンジしてみてください。気に入った写真が撮れましたら、ぜひ、フォトコンテストにもご応募ください。



編集部H氏のお手本
2015年オリオン座流星群

風



(敬称略)

おめでた(子・親)

神通川 暉・将・愛子・上竹田

古畑 鈴乃・優樹・上竹田

トミザワ莉々愛・英男・上竹田

川原田 詩・天輝・上竹田

唐沢 碩・仲治・小坂

おくやみ

山口 智寿・90歳・小坂
小野 文子・70歳・上竹田

訂正とお詫び

館報1月号の働く姿で、門馬菜々さんのお名前が「奈々」と誤表記されていました。ご本人並びに読者の皆さまに、訂正し深くお詫び申し上げます。訂正したもののについては、村ホームページに掲載しています。

優勝 本殿下

1月27日(日)、ふれあいドームにて小坂分館冬のスポーツデーがありました。グラウンドゴルフや風船運びなど9つのミニゲームを常会ごとに対戦しました。年齢制限が無いので、参加者は和気あいあいとゲームを楽しんでいました。



優勝 男女ともに北中

2月10日(日)、トレンセンにて下竹田分館ソフトバレー大会が行われ、各試合とも白熱したプレーで、参加者はいい汗を流していました。

下竹田分館では近年、出場する常会が減少する中、男子リーグでは男女混合でも参加できる様にルールを変えたりとスポーツ大会を維持しようと努力しているようです。



純喫茶タケダ

1月27日(日)、三澤優治さん(三澤珈琲松本店店長)を講師に招き、上竹田公会堂にてコーヒー教室が開かれました。温度、タイミング、粉の厚みによって味が変わる仕組みなどを学び、実際に淹れたコーヒーを飲み比べてその違いを実感しました。

上竹田は冬季スポーツ大会をこの教室に変更しました。スポーツ以外で区民が集う場を模索中です。



大もちつき大会



1月20日(日)、下竹田公会堂にて社会部主催ふれあい活動が行われました。もちつき大会の前に社会福祉協議会協力のもと鬼の帽子づくりが始まると参加した子どもたちは慣れない工作に苦労しながら一つひとつ顔の違う鬼の帽子を作りあげました。

その後メインイベントのもちつき大会では大人も子どもも一緒になってもちつきを楽しみました。ついたおもちはきなこ、ごま、しょうゆなどでおいしくいただきました。

社会部では、もちつき大会をやる事がはじめての試みでした。「もちつきの準備など不安が多かったですが、大勢の人が集まり今までで一番盛りあがった企画」と役員さんも満足していました。



みんなの人権 ⑦

「トイレをきれいにお使いいただき、誠にありがとうございます! 店主」

～アサーショントレーニングと人権 一 村職員人権研修に学ぶ～

日頃の人間関係の結び方や自己肯定感(セルフエステイム)への振り返りなどを学び合っていました。◇このようなセルフエステイムの育成やアサーショントレーニングは、秋に見学した山形小の人権学習の授業でも、「仲間の良いところ探しとその発表」などと盛んに取り入れられていました。これは、幼保・小・中・高・大問わず、学校現場の色々な場面で実施されるようになってきている学びでもあります。◇このような教育環境で育つてくる子どもたちと、これから折り合い良く生活していくために、地域や職場など大人の研修の場でも、昨今のスポーツ界の指導法の大転換のように、その内容や手法などについて、更に学びを深めていく必要があります。(H・31・2 M・H記)



③

◇過日、とあるスーパーの手洗い所を利用した際、上の見出しのような「トイレメッセージ」に出会い、思



交流会にて



村に寄贈しました

“緑”で 結ばれる絆

松本山雅後援会
山形支部のみなさん

2013年に7名ほどで発足した山雅後援会山形支部。サンプロアルウインの清掃やホームタウンデーでのお手伝い、また昨年の山形じゃんずらでは踊り連として参加するなど活発に活動しています。「ぜひ一度、アルウインに足を運んでほしい。必ずハマるはずです」「交流会を通じて、もっと仲間も増やしたい」と、上條勝支部長（下竹田）は話します。

老若男女問わず我々に夢を与えてくれる松本山雅FC。それを応援する山雅後援会やファン・サポーター。緑で結ばれる絆がここにありました。



絆

KIZUNA



じゃんずらで踊りました

山口なず菜さん

小坂
おひつじ座



古畑 大輝さん

下竹田
おとめ座

目指せ！
インターハイ



笑顔がかわいらしいなず菜さんは中学3年生。小学5年生の時に入ったヤマリククラブで走ることに楽しさを知りました。それからずっと陸上に夢中になっているそうで、北信越大会の四種競技で3位になるほどの実力者。今は高校受験で部活は引退していますが、陸上を続けていきたいので自主練習をしているとのこと。

高校では七種競技やリレーでインターハイ出場を目標にしているときわやかに話してくれました。



仕事に一生懸命

昨年から製造の仕事に就き作業をしていく中でモノづくりの面白さと大変さを感じている大輝さん。仕事が楽しくて「いきがい」だとか。「早く仕事で上を目指したい」と語ってくれました。

また、友達とのバーベキューや飲み会、昨年入団した下竹田分団の仲間との飲みニケーションが楽しいと笑顔で話してくれました。

休日は将棋などのゲームで頭をほぐし、最近は温泉めぐりで体をほぐし、仕事もプライベートも楽しんでいきます。